



社会福祉法人鶴風会

後援会ニユース

No. 8 (昭和54年)
社会福祉法人鶴風会
後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニユース8号をお届けします。
今号は妙智会、宮本理事長の東京小児療育病院訪問と、昨年八月、帰宅中に突然亡くなった「みどり愛育園」入園児、順次君の思い出を中心に編集いたしました。



東京小児療育病院を訪ねて

妙智会教団理事長

宮本文靖

私が武蔵村山市に心身障害児の早期療育の東京小児療育病院を訪ねしたのは昨年の秋のことでした。重いハンディキャップを背負わされたお子さんたちと、彼等を献身的に療育される方がたに接したのは、私にとって初めてのことでした。

社会福祉の歴史をみますと、教団体による民間の活動が、先駆的な役割りを演じておりますが、私も遅まきながら、この訪問を機縁として、社会福祉のために、お役に立たねばならぬと決意した次第です。

私たちは仏教系の宗教団体を組織いたしております。仏教徒の最終目標は、各自が仏の悟りと、仏の智慧とを得ることであり、そのためには徹底した利他行——他人に奉仕するという修行をしなければなりません。私は教団として、心身障害児のために奉仕することを、私たち自身の修行として受けとめるべきであると考えています。

肉体的に、また社会的にハンディキャップのある人の欠けた部分

を、健康な人たちが補完するというのは民主社会においては、ごく当り前のことです。甘い感傷や同情を振りきって、むしろそれが私たちの義務であると自覚すべきです。

私は訪問した東京小児療育病院の脳性マヒのお子さんが日々、療育にはげんでいる状態を、まず第一に、私たちの婦人組織に訴えましました。反響はす早く、かつ大きく、また、くうちにオムツやタオルが数千枚も集まりました。

また私は信者たちの浄財を社会に還元し、社会福祉の推進に役立たいという気持から、鶴風会に応分の寄附もさせて頂きました。これは仏教という布施の行に見あうものです。

私たちは、脳性マヒのお子さんたちの快癒を念じ、将来への可能性を信じ、これからはますます強力な奉仕体制をつくりたいと考えております。と同時に、私たちの婦人組織のみならず、広く社会に呼びかけて、脳性マヒ予防の知識を普及させたいと考えている次第でございます。

順次君のこと

東京小児療育病院院長

藤 永 数 江

昨年八月二十三日、「みどり愛育園」に入院中の順次君（七才）

が夏期家庭観察で一週間帰宅中に突然、父親の手によって生命を断たれるという悲しい事件がおこりました。

御記憶になって居られる方も多いと存じます。

病院側の退院のすすめと、それを受入れる家族側が今後の負担を苦にしたのが原因だったのでな

いかと報道されました。

回復の希みのない病人や障害児が家族の手で生命を断たれるという悲惨なケースは残念ながら後を絶ちません。

苦しみにぬいた末の結論に第三者

が口をはさむべきではないのかも知れませんが、順調に回復しつつあった順次君のことを考えると悲しみと同時に憤りを押えることが出来ません。



順次君がこの病院へ入院して来たのは一才四ヶ月のときでした。

それまでは病院から病院を転々と、家庭で育てられたのは僅かに三ヶ月位と聞き及んでおります。

順次君はアベルト症候群で脳性マヒに他の障害（重度精薄、視力障害など）を持つ重複障害児ではなく、入院して来た時、

すでに座ることも、おもちゃを手で持つてよろこびを表すことも出来る子供でした。

ですから、児童相談所が「みどり愛育園」に措置するような子供ではなく、重症心身障害児としてこの子を受入れたことも間違っていました。

最初から、順次君には日常生活は自立出来る可能性がありましたから、その後の七年近い療育によって順調に発達し、回復して行きました。

「みどり愛育園」の寝たきりの入院児たちの中で順次君は一人だけ走り、話し、笑い、身の回りのことも大体、自分でできるようになっていました。

重症施設に入院している期間が長びく程、正常な発達が阻害されるのを心配し、順次君の長い将来を考えて、学期期に達した時点で学校教育を受けさせてやりたいと病院職員は真剣に母親と話し合いました。

しかし、この願いは六年七ヶ月の間、順次君と日常生活を共にしてきた病院職員の愛情であり、御両親の気持とはかなりズレていました。

順次君を引取ることについてお母さんは迷惑気、この子さえ

いなかったら家庭も他の子供達も幸福なのだと考えて居られたようです。

順次君を自分の子供として素直に受入れる気はなかったように思われます。

お父さんは順次君の六年七ヶ月の入院期間中、一度も病棟には来られませんが、裁判所で初めてお目にかかりました。

この事件を契機にして、私は重症児施設入所基準の見直しの必要性、入院期間の限定、児童相談所の業務のあり方、児童福祉司の質の向上などについて考えなければならぬことを痛感しました。

さらに障害児を抱えている親の意識を深めることを今後の課題にして行かなければなりません。

児童相談所や児童福祉司の方々は一事例ごとに真剣に取り組んでいただきたいと思えます。

現状では担当者が短期間で交替してゆく為には障害児についての働きかけがその都度振り出しにもどり、障害児の将来をきめる重要な立場にある児童相談所が満足な指導が出来ない場合も見受けられるからです。

「みどり愛育園」には現在五十名の重症心身障害児が入院しています。寝たきりで重度精薄、視力

障害などを持った重複障害児たちです。入院期間が十年以上になる子供が大半をしめ、これから先、一生当院で過ごすようなことになるかも知れません。

この寝たきりの子供たちにとって絶対なものはお母さんであり、その大切なお母さん達が年々、子供達から遠ざかってゆくというのが現状なのです。

こんな悲しいことがあってよいものでしょうか。

子供たちの診療にたずさわる者の一人としてむなしい気持ちにさせられています。

病院の廊下をスポンをあげながら走りまわって遊んでいた順次君の姿が、職員の前からまだ消えていません。

あの知らせを聞いたとき、病棟では数日後の順次君の八才の誕生日のために誕生会の準備をしていたところでした。

裁判の判決は懲役三年、訴訟費用負担、母親不起訴で事実関係から判断すると最大限状況酌量されたと思っています。

黒木先生を悼んで

社会福祉法人鶴風会
前理事長 長

森 寿恵

先生は、昨年九月二十四日、突然御逝去されました。お知らせに接し、私は驚きと悲しみで、茫然自失の思いでした。

思えば、社会福祉法人鶴風会の事業が、昭和三十五年以来今日に至る迄、多くの方々の御助力があったとはいえ、現在病院経営が軌道にのり、幼ない百五十名の肢体不自由児が明るく療育に励むことが出来るようになったことは、ひとえに先生の御援助あつてのこととございます。この事業の発足にあたり、当時厚生省児童局長（現在児童家庭局）でいられた先生に、私共女医有志が何か社会福祉に役に立つ道は、と御相談いたしましたところ、即座にこの仕事が一番です、と御助言いただいたのが現在の事業です。

その後四十年に退官され、私共法人の理事もお引受けくださり更に参議院議員として、四十五年には行政管理庁政務次官として御活躍の多忙の中を法人のため寸暇を

さいて御尽力くださいました。

当時は工事未払金、経営の赤字対策等運営には困難を極めておりました。先生は非常に心を痛められ、国及び都の助成金、財界の寄附集めにも御協力くださり、更に先生個人への政治献金まで法人にお廻しくださるなど、福祉の心を実践に移された政治家が、他におられるでしょうか。

社会福祉諸立法を立案され、社会福祉行政の基礎づくりに貢献され、名実共にその道の第一人者であられた先生は、幾多の功績によりローマ法王よりアジア地域では最初の、有皇騎士団長章を叙勲されました。その祝宴での喜びにあふれた先生のお姿は今でも忘れることが出来ません。

最近健康づくり振興財団理事長になられ、この事業は医学的、社会的にも重要な意義があり、先生の手腕が期待されておりましたのに急逝され、どんなにかお心のこりのことでしょう。

先生、どうぞお見守りくださいませ。私共は先生のお心に報いべく、全身全霊を傾けて、この事業を立派に続けていくことを誓います。

今はひたすらに御冥福をお祈り申しあげるのでございます。

バザール報告

東京小児療育病院
総務部長

越谷 秋治

当院（園）に奉職して半年、私の初めての仕事でありました「第三回チャリティ・バザール」について御報告申し上げます。

今回のバザールの目的は訓練棟の内容整備の資金を獲得する為でございます。

開催にあたり「実行委員会」を設け、委員長に藤永院長、委員に倉島常務理事、竹中父母の会長、後援会の長谷川さん、私の五人が就任し事務局の設置、開催日・場所、目標額、集荷方法等について打合せを行いました。

事務局については病院事務が担当、開催日は十月二日が近隣学校の運動会と重なる為十月八日、場所は訓練棟が使用出来ないのので病院の前庭と決めましたが、降雨の場合どうすればよいか、天気が心配で「テア」が身をけずる思いをしました。

目標額は前年一〇%増の約三百万円、集荷は私が責任を持って廻ることになりましたが、何せ素人

故、気はあせれど進まず、関係者の方々に大変御迷惑をかけたことを深く反省しております。

理事長、院長、理事の先生方、父母の会、後援会の皆様で手わけし、約一五〇社、品物協力依頼の手紙を出すやら、直接お出かけいただくなど大変な御苦労の結果、九月末頃からぼつ／＼品物が届けられ、又何日に来るようにとの連絡が入り始めて、毎日集荷に廻るようになりました。

寄附をしてくださった会社も本当に気持ちのよい雰囲気、これは偏に御依頼下さった方々が誠意本趣旨を説明され、理解を得る努力をされた賜と深い感銘をうけました。その結果、出足が非常におくれたにも拘らず、昨年を上廻る程の品物となり、一同うれしい悲鳴をあげる毎日でした。

バザールの収支については「お知らせ」をごらん下さい、おわかり頂けると思いますが、無事成功裡に終了しましたことを御礼申し上げ、今後共よろしく御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

訓練棟も昨年十一月に完成し職員、入所児童一体になって訓練に励んでおります。御来院の節、御参観下されば幸と存じます。

▽お知らせ△

☆昨年は初夏よりチャリティバザール・チャリティパーティーと続き後援会ニュース秋号が発行できなかったことをお詫びいたします。おくれはせながら五十二年度募金総額五百七拾七万参千百式拾五円、御寄附いただいた延人数は六・七名でした。

☆チャリティバザール収支報告
協賛会社 一一五社
個人 二二二名

売上金 三六九三七六一円

寄附金 八八六四〇四円

計 四五八〇一六五円

支出（天幕・音響機）七〇五六〇九円

差引益 三八七四五五六円

☆チャリティパーティー収支報告

（財団法人脳性マヒ児を守る会）と共催

パーティー券七六〇五〇〇円

ラッフル券 四三四〇〇〇円

寄附金 二一〇〇〇〇円

計 八二四九〇〇〇円

ホテル払 四六九〇七八〇円

出演料 四〇〇〇〇〇円

雑費（印刷代他）六二二三二〇円

計 五七七一四一〇〇円

差引益 二五三三九〇〇円

☆妙智会教団より鶴風会へ、病院の子供達のために役立てほしいと、金老千万円の御寄附を頂戴いたしました。

後援會寄付者御芳名

バザール寄付者をふくむ
アイウエオ順・敬称略
五六九名
(五三・二一五三・十一)

阿曾 滋子・青木幹恵・浅利重子
天野まき子・青木ゆう・青木よし子
安西美代・相沢ミツ子・安倍マサ
安東敬子・新 幸子・荒川あや
阿部賢晤・天野悦男・芥川芳枝
青木 瞬・赤坂 陽・厚味かよ子
天沼恭子足達みき子・朝倉富美子
秋山延子・新井恒子・秋山貞子
青木継穂・阿曾須己子・新 淑子
池田謙三・飯田昭子・一藤木俊夫
井口洋一・大飼礼子・井上瑞穂
井上幸子・五十嵐千代子・池野ヨシ
市川 寿雄・伊藤雪子・井上トキ
磯村 光・飯田桃夜・伊藤 礼
板倉玉子・磯サワ子・五十嵐いづ子
伊藤徳子・石田文枝・稲葉真理
石原 純・伊村欣祐・井上裕子
一宮勝也・家原小文治・井口昌亮
市川ハナ子・井上種子・出井 道
岩崎 綾子・池上博子・池羽トク
伊藤恵子・村上静子・五木玲子
伊藤梅雨子・石塚洋一・井上康子
池田信也・今西利子・石原たけち
石井軍司・飯塚治子・生島ミヨ
伊藤マサ・白井潔子・上高嘉納子
白井重三・内ヶ崎仁子・浦田とめ子
牛込莊一郎・梅原公江・上田 茂
内田博之・内田登志子・梅田寛子
白井信郎・植田桂子・梅沢千鶴子
漆畑 勲・内出洋道・内出和子
海野俊雄・江田フジ・江村重威
海老原淑子・小川再治・小川昭子
小川文子・大嶋 功・大月佐東子
荻原すみ子・大谷明子・及川 忠
及川 貞・大岡良子・岡田孝子

小山五郎・小田けい・大下久代
小原正樹・太田文江・小樽夏加
小俣文栄・大熊 進・大熊はつみ
大室輝雄・太田道子・大木秀子
大槻 正路・織畑秀夫・長田詢子
尾藤 澄子・小野知子・小沢きみゑ
岡田 節子・奥原長美・沖津くら
尾崎 九重・大関 忍・大隈美智子
小田切弘人・忍足正之・忍足美代子
岡庭昭紀・岡崎 隆・岡村シマ子
小尾幸子・小沢一男・及川公美子
大久保さき江・院院純仁・笠井 和
加藤太郎・川合朝子・川原タケ子
勝見富美・川島文子・加納桂子
釜范登志子・柏木美香子・龜谷了
金子忠子・河方延介・金沢好子
神田敬子・川野アヤ子・川南サチ
加嶋伊勢子・金子和夫・鎌田直子
金子晴生・金丸米子・神前恒子
嘉悦敬子・菊地久子・北川フサ
岸田千代子岸 茂子・木村甲子郎
岸本茂次郎・岸 直枝・木村 規
栗池志げ子・北村清明・橋田ふさ子
栗田行雄・工藤訓正・吳 みどり
吳 美村・久山斌・久保田トモ子
栗田菊枝・葛野シツ・久木元久枝
国方澄子・熊谷美津子・栗原隆平
黒田 昌楠 后代・久保田奈美代
幸田文一・幸田トミ・幸田トモ子
小林信子・小松伊松・兒玉筆子
小林義郎・小松伸弥・近藤澄子
小櫃温江・古賀和子・後藤千恵子
小林京子・小林秀子・小関敏子
神津康雄・小松栄一・葦 具味子
小島ケンゾー・後藤幸子・後藤すみ子
紺谷久仁枝・小島貞子・小林正木
河野友治・小島邦彦・小林一雄
小林登喜子・小味潤福・奥石淳子
小泉美子・三辺幸子・佐々木明子
佐藤欣治・齊藤イサヲ・齊藤英子
佐藤艶子・佐々木 綾・齊藤英俊
佐藤朝・佐々木富美子・坂元八千代
指田和明・佐々木庄八・佐藤良子

齊藤水津子・笹井等子・齊藤貞子
佐々木キサ・佐藤甲子・境 敏秀
清陽輝久・佐藤ツヤ子・齊藤長則
齊藤卓雄・佐々木美代子・佐竹敬一
齊藤雪郎・篠田富美・島津幾之進
篠田陽子・篠塚清志・島 積善
東海林幸子・白浜光子・柴田とら
下田喜久代・嶋野 栄・下村節義
品田光江・柴田敏子・白田政子
白石 勲・白石芳子・志村光久
嶋田寛子・新谷芳子・鈴木洋子
島田澄子・下島 勝・鈴木繁雄
鈴木慎子・杉本寛子・菅 眞子
末吉実子・鈴木信宏・鈴木君子
須田経宇・菅 邦夫・杉立美恵
鈴木美佐江・須賀利光・須藤寧子
鈴木道子・鈴木雅人・鈴木誠一
鈴木 稔・関 瑞穂・瀬戸富喜代
関 静・関根嘉子・側垣恵子
添田百枝・相馬直子・高橋百合子
田鍋庸子・田中満智子・高橋和子
竹内三郎子・田中政五郎・高橋里美枝
武谷ヒロヒ・高垣益子・田中三重子
竹谷北照・竹中久三・田中内文雄
高橋三代子・高木輝雄・田中信子
高桑幹雄・高桑明子・高田小夜子
高木松枝・田郷寿正・多田正子
竹崎トシ・多比良 勉・田島高子
竹内敏之・高井貞子・田村奈保美
竹中美智・田中 勲・伊達愛己
伊達陽子・田宮三鶴代・竹下まさゑ
田部昭山・田中 浩・高槻義夫
田中さだ・多胡博雄・高田格郎
高月正宏・竹内栄男・田宮二郎
田卷哲夫・高橋栄子・高橋弥生
立川清登・塚本正子・筒井こぶ
穂谷清雄・鶴岡康子・塚越京子
堤 千尋 月花 亮・出構昭子
土肥幸枝・戸田芳江・外山千枝子
道下富信・徳重隆幸・遠山美知
戸塚静枝・中里玉子・中館君枝
中村富美代・中野敏江・中村登紀子
長野文子・中谷孫一・直井喜美子

中嶋ふさ・中川甲子・成毛ミチ子
成毛典子・中平貴子・中山年子
中田 当人・中山久子・長浜レイ
中村文子・中根幸枝・永田保子
中村静江・中村詢子・中村克彦
中倉千鶴子・中島桂子・二宮文乃
新実静江・西田文子・西岡 将
二宮健次・西平守夫・西田研治
野沢良美・野沢多都美・野沢典美
野沢和枝・野崎成子・能勢勇一
長原 彰・野坂達子・野村正征
野谷川千余子・蜂須賀富美子馬場シ
蓮沼ゆき・林 光子・橋本静子
秦 和子・蜂谷イソ子・半沢紀子
林 敬・羽生通恵・長谷山陽子
原 美知・原 信子・林 敬一郎
原田チイ子・萩原マチ・原田品子
原田睦子・半田登喜代・濱田 美
橋詰直孝・馬場健一・林 美香
早川 好古・原田 孝・畑下敏行
橋本フジ子・服部睦子・日野子ヨコ
平瀬洋子・比留川 真平岩扶美子
弘瀬理子・日上和子・平岡真理子
菱沼愛子・廣木静枝・平野敬八郎
福田静子・福田栄子・笛木トキ
古野寿子・深見利子・藤本貞子
福永ひろ子・藤井京子・布施京子
府川則子・古川 明・藤田眞之助
藤崎きよ・藤田トミ・藤野和子
福田 操・福田嘉子・藤田よし江
古谷貞子・本間義章・本田哲子
本田ヒサ・発地瑠璃子・松永健治
松永しげ・松下芳男・松沢義人
俣野昭一・増田富士子・真木篤子
丸山和子・増田純一・牧野寿馬
牧野忠夫・前田純一・前野アツ
松岡 譲・前田正子・馬淵ミツノ
眞下静枝・松井健二・松井寿美子
松尾キミ・松本 知子・宮崎房子
三浦眞一・三戸 緑・宮川和幸
宮田誠子・宮山フミ・三島 治
三島祝子・宮本一郎・溝口美文
宮沢 香・宮永 豊・宮下裕江

宮崎よし・水上淳子・三輪篤信
宮川京子・三橋神酒・水野久美子
宮本 馨・村上純一・村上リヨウ
村井トク・村田ユキ・村野喜代
室伏繁一・室伏弘子・村上レイ子
村松功雄・武藤キヨ・村田恵子
村岡 均・村田達江・本明 寛
本橋 猛・森田和子・森川幸江
森田てい・守田文彦・森 金弥
粟山篤子・森 克彦・森 勉
森神千代・柳澤濱子・山口照子
山崎律子・山下文子・山口 薫
山本仁也・山本双葉・山口銀子
柳谷紀子・山田潤史朗・柳原福代
山田三枝子・薬師寺成子・蔵本瑛子
山本徳治郎・山川昌一・屋代英也
山崎婦さ子・矢高レイ子・柳堀 弘
柳澤博子・矢野春雄・山田琴子
安木重雄・湯川玲子・吉永弘子
横沢寿美・吉田千恵子・依田幸子
吉田喜一郎・吉田トミ・吉松 博
米沢マチ・米山杏子・吉森隆恵
柴満礼子・若杉まり子・渡辺和子
渡辺古都江・渡辺静子・渡辺 明
渡辺 淳子・渡辺 喬

福 神 洋 信 局
東 東 洋 信 局
日本ホームエコノミスト協会
鶴風会 福岡県支部
シャパンオリール株式会社
中央 興 医 会
三 共 株 式 会 社